

千代稻荷神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

創建年代は不詳である。津山市山北八子字不知夜山鎮座八幡神社の摂社であったので、同神社社記に、朱雀天皇承平四年九月十九日を例祭日とし長く続いた。社の右傍に古杉があり、周は二囲余枝葉は繁茂して雲を凌ぐほどである。鶴が天より飛来し、香稻を囓んでいるので、その種子を神田に蒔いて大增収を穫った。古杉の下に五穀神が降臨すると感じて、社殿を建造した。五穀神は鶴の千年にちなんで、倉稻魂千代と奉称した。嘉吉年間に山名教清が美作国守護職となって、八幡神社の鎮座地の鶴山に築城して、千代稻荷神社と共に崇敬した。慶長八年森忠政が美作守となり、不知夜山に遷座した。寛永十一年に忠政は神告によって、城の鎮守として城郭の北東隅に鎮座した。天和三年に森長義が現在地に社殿を建立した。松平氏が入封し元禄十三年に社殿を修覆した。その後、正徳六年、天明三年、明治三年と修理を藩命で行った。森氏は米五石八斗を、松平氏も米を奉納した。しかし廃藩となってからは寄進もなくなった。本神社は氏子はないが、一般崇敬者の信仰厚く今日に至っている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード

03012

神社名

千代稻荷神社（センダイイナリジンジャ）

通称名

お稻荷さん

旧社格

無格社

鎮座地

〒708-0022 津山市山下82

電話番号

FAX番号

駐車場

御祭神

御神徳

主な祭典

宮司宅電話

0868-24-3310

URL

e-mail

特記事項

氏子地域

交通アクセス

神事一覧

夏越祓

祭礼日時： 7月28日17:00

文化財指定： 無

[神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho